

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（1）

都道府県名： 大分県

計画の名称： 県北・日田地域

1) 事業の実施状況

計画の整備方針	事業区分	事業名	事業実施状況	事業未実施の理由
① 中津港を拠点とした物流基盤整備の促進、生活環境整備等による移住・定住の促進	基幹事業	道路事業（新設1箇所、改築8箇所、修繕4箇所）	△	用地買収が遅れたため
	関連事業	国道10号中津バイパスなどの道路事業	○	
		重要港湾中津港改修事業	○	
		団塊の世代活力支援事業（県外居住者のUJIターンを推進）	○	
② 自動車関連産業に参入できる地場企業の育成等	提案事業	自動車関連産業新規参入促進事業	○	
	関連事業	自動車関連産業企業力向上推進事業	○	
		団塊の世代活力支援事業（産業活動への参入）		
③ 効率的な企業立地、良好な生活環境の形成に向けた土地利用計画の検討	提案事業	事業活用調査（都市政策推進費）		

○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み ー：事業を中止

2) 目標の達成状況

計画目標	事業効果の確認方法	指標名	従前値	目標値	評価値
地場産業の自動車関連産業参入促進、移住・定住の促進による雇用者の確保により、地場産業と進出産業の共生・発展を図り、自立・活性化した北部九州の中核地域を形成する。	計画で定めた目標指標	自動車関連産業の付加価値額	524.8億円 (H17)	562.9億円 (H24)	1461億円 (H24)
		各市の将来目標人口	244,456人 (H17)	233,231人 (H27)	229,599人 (H27)

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（２）

3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

事業効果の確認方法	計画で定めた目標指標	
	自動車関連産業の付加価値額	各市の将来目標人口
事業効果の発現状況	事業を効果的に実施できた。	一部事業において整備計画期間内に完成に至らなかった。
外部要因の影響		平成20年度の経済危機等の影響が考えられる。
目標達成・未達成の要因 (問題点の把握)		上記の理由によるものが考えられるが、北部九州への進出企業数や世帯数は右肩上がりであり、今後も増加することが予想される。しかし整備計画時点での目標達成には至らなかった。
目標の達成・未達成区分	S	A
全体計画の総合評価	A	

S：計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った

A：計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない

B：計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った

C：計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない